

Diletto

3カメラドライブレコーダー
DRV-H3C

取扱説明書



microSD カードは付属しておりませんので、別途お買い求めください。

この度は、ドライブレコーダー「DRV-H3C」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を使用する前に、本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
読み終わったら、大切に保管してください。なお、本取扱説明書の見返しに保証書が掲載されています。
また、車への取り付けは、必ず取扱説明書に従って、正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品をご使用すると、事故や怪我の原因となる可能性があります。
この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

目次

はじめにお読みください

microSDカードについて	1	動画記録モードについて	33
安全上のご注意（必ずお守りください）	4	録画種別について	36
使用上のご注意（必ずお守りください）	7	静止画記録モードについて	37
注意事項	8	再生モードについて	38
商品構成一覧表	12	設定メニューについて	39
各部の名称と働き	13	PCビューワーについて	44
ファンクションボタンについて	15	録画ファイルについて	46
取り付けについて	16	トラブルシューティング	48
microSDカードの挿入・取り外しについて	27	その他	51
microSDカードのフォーマットについて	28	製品仕様	52
電源オン／オフについて	29	メモ	53
各種モードについて	31	保証書について	56
ワイプ画面について	32		

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHCやmicroSDXCカードを便宜上、「microSD」および「SDカード」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。
- 本取扱説明書の見返しに製品保証書が掲載されています。

免責事項について

- お客様または第三者者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 常時電源ケーブルを使用した際の駐車監視機能は、車両のバッテリーを使用します。そのため、車両のバッテリーに負担がかかりますので、定期的に点検をしてください。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は、録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱いには十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常にについて、弊社は一切の責任を負いかねます。

microSD カードについて

●microSDカードについて

本製品には、microSDカードは付属されていません。

市販品のmicroSDカードを別途ご用意ください。

※対応SDカード(推奨)=32GB～256GB、UHS-Ⅲ 以上

※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません

●microSDカードのフォーマットとは?

フォーマットとは、microSDカード内のデータを初期化することであり、長期間、microSDカードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイル断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせぬお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSDカードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくため、製品お買い上げ時および1週間ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSDカードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSDカード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSDカードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください



本製品をご使用する前には、必ずmicroSD
カードをフォーマットしてください。
フォーマットしないとご使用できません。



安定してご使用いただくため、microSD
カードを定期的にフォーマットしてください。
※推奨: 1週間ごと

SDカードのフォーマットについての操作方法は、
P28を参照してください。

●microSDカードの注意事項

- ▼本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- ▼本機は32GB以上(UHS-III以上)のmicroSDカードに対応していますが、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- ▼推奨以外のmicroSDカードを使用した場合、正しく録画ができない場合があります。
- ▼市販品のmicroSDカード全てに対応していません。
- ▼市販品のmicroSDカードを使用する場合、スピードやクラスによっては、記録されない場合やデータを正しく保存できない場合があります。また、記録データ時間や保存可能データ数が変動する場合があります。
- ▼microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- ▼microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- ▼microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ▼使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります
- ▼安定してご使用いただくため、定期的にmicroSDカードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ▼正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- ▼長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行なってください
- ▼フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- ▼microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- ▼microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- ▼microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- ▼microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。

- ▼microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めて、本体の電源をオフにしてください。電源が入っている状態でmicroSDカードの抜き差しをすると、microSDカード自体およびファイルが破損する場合があります。
- ▼microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- ▼変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- ▼本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- ▼microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- ▼microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- ▼microSDカードのエラー発生時、記録した録画ファイルや静止画ファイルを復旧できない場合があります。
- ▼あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- ▼フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- ▼フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ▼microSDカード内に本機で録画したデータおよび本機による生成ファイル以外を格納した状態で使用しないください。
- ▼正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。その場合は、フォーマットを行ってください。
- ▼重大な事故などで電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- ▼思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしていけない事項
	強制	必ず守るべき事項

⚠ 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、
また、交換は専門技術者に依頼する

- ⚠ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

- 🚫 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

- 🚫 ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画像・表示を注視しない

- 🚫 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。

- ⚠ 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や電気、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

- ⚠ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

DC12/24Vマイナスアース車で使用する

 DC12/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

分解や改造はしない

 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  を外しておく

 バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

機器の通風孔を塞がない

 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

- 車載用以外(例えばレジャー・ポートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

- 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

- ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

- 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器が壊れたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

- 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

- 雨や洗車などで水がかかって、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

- 強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

液晶画面に表示される映像とミラー表示は異なります

- 液晶画面に表示される映像と鏡面ミラーに映る範囲は異なりますので、あらかじめ違いを確認してください。

システムには限界があります

- 本製品のカメラ機能は死角を完全にバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

使用上のご注意（必ずお守りください）

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠ 注意

取り付け中はエンジンを切る

⚠ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

⚠ トンネル入出時、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラス、リアガラスと本機のレンズの表面をきれいにする

⚠ 車のフロントガラス、リアガラスと本機のレンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。

信号機の色を認識できないことがあります

⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカードの保存容量超えに注意

⚠ 緊急録画で記録された動画は上書きされません。ファイルが増えると、microSDカードの保存容量を超えると、録画ができなくなったり、緊急録画できなくなる可能性があります。
必要に応じてファイルを削除してください。

日本国内のみで使用する

⚠ 本機は日本国内のみで使用できます。
海外では使用できません。

注意事項

●必ずご確認ください

本注意事項は、製品の使用や操作に関する仕様および製品の特性による注意事項となります。使用中、異常や故障と思われた場合、まず、本注意事項をよくお読みの上、ご確認いただきますようお願いいたします。

スーパー・キャパシタについて

- 本機は、爆発や膨張の可能性があるリチウムバッテリーではなく、安全性の高いスーパー・キャパシタを採用しています。長期間、本機を使用しない場合（電源をオンにしなかった場合）、スーパー・キャパシタの電池が放電し、空になりますので、その場合は、約3分程度、電源をオンにした状態にしてください。
10分以内に電源を切つてしまふと、十分にスーパー・キャパシタに充電ができないことがあります。
※スーパー・キャパシタが十分に充電されていない場合、録画した映像ファイルが正しく保存されない場合があります

シガーアダプターについて

- 付属のシガーエネルギーは車のシガーソケットに直接接続してください。
- シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。本体への電源供給不足により、正常に動作しない場合があります。また、カメラ映像画面にちらつきが発生する場合や火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- 付属のシガーエネルギーを改造して使用しないでください。故障、破損の原因となります。

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディションにより、エンジン再始動時に本機の電源が落ちる場合があります。その場合は、車両バッテリーの電圧を確認してください。

本機の日付と時刻について

- 本機の日付と時刻は 設定メニューで日時設置を手動で行います。
- 本機を約30日間以上使用しなかった場合（電源をオンしなかった場合）、内蔵されている日時保持用のバッテリーが放電します。その場合、再度、日時設定を行うようにしてください。
※正しく日時を設定されていない場合、録画された映像ファイルが正しく保存されない場合あります

注意事項（つづき）

録画について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中、本機を操作したり、ディスプレイを注視しないでください。走行中にあらゆる操作や画面注視をすると、道路交通法で罰せられます。
- 設定操作を行う場合は、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態（パーキングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態）かつ周囲の安全を十分に確認した上で操作してください。
- 夜間に録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 電源オン後、SDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

録画ファイルについて

- 事故が発生した場合、内蔵されているGセンサーが働かず、通常録画として録画をする場合があります。これは故障ではなく、取り付け方をはじめ、衝突や振動の発生状況、Gセンサー感度設定等の状態によって起こり得るため、故障ではありません。
事故発生時や大切な映像ファイルを録画した直後は、SDカードを抜いて保管するようにしてください。
- ※録画は常に古い映像ファイルを上書きするため、時間の経過とともにファイルが消失しますので、十分にご注意ください
- 電源が入った状態でSDカードを抜くと、直前まで録画していた映像ファイルが正しく保存されませんので、SDカードを抜く際は、必ず、本機の電源をオフにしてからSDカードを抜いてください。
- 録画中にSDカードを抜くと記録できなくなると同時にSDカードおよびデータが破損します。
- スーパーキャッシュへの充電不足や正しい操作で録画を終了しなかった場合、SDカードの抜き差しに問題があった場合、録画した映像ファイルが破損されている場合があります。その場合、SDカードを本機に插入し、再度電源をオンすることで再生可能ファイルに復元可能となる場合があります。

注意事項（つづき）

取り付けについて

- 本書の「取り付けについて」にしたがって、正しく取り付けてください。
→[P16 取り付けについて]
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などに干渉しない場所へ取り付け・配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- リアカメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかりと拭き取り、確実に取り付けてください。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引ち張られた状態で配線の取り回しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のものは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

本体について

- 本体が発熱することがありますが、異常ではありません。

注意事項（つづき）

リアカメラについて

- 本製品専用のリアカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リアカメラは本体同様、防水構造ではありません（ケーブル含）。必ず車内へ取り付けてください。
- リアカメラの配線処理の際、ケーブル類が車両のドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線をすると、断線等が起き、故障や破損の原因となります。
※配線処理が困難な場合は、車両販売店や専門業者へお問い合わせください

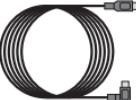
衝撃検知について

- 雪道や凍結路では、タイヤと路面の接地面の摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップするため、Gセンサーによる検知ができない場合があります。
- 本体への衝撃が弱い場合、検知できない場合があります。
- 本体が正しく設置されていない場合、衝撃検知できない場合があります。
- 衝撃検知の感度設定により、頻繁に検知する場合がありますので、ご使用の環境に沿った設定に見直してください。

商品構成一覧表

本体および付属品

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

■ 本体 	■ リアカメラ 	■ リアカメラ接続ケーブル (約6m) 
■ 本体プラケット 	■ シガーエンタープライズアダプター 	■ 取扱説明書 

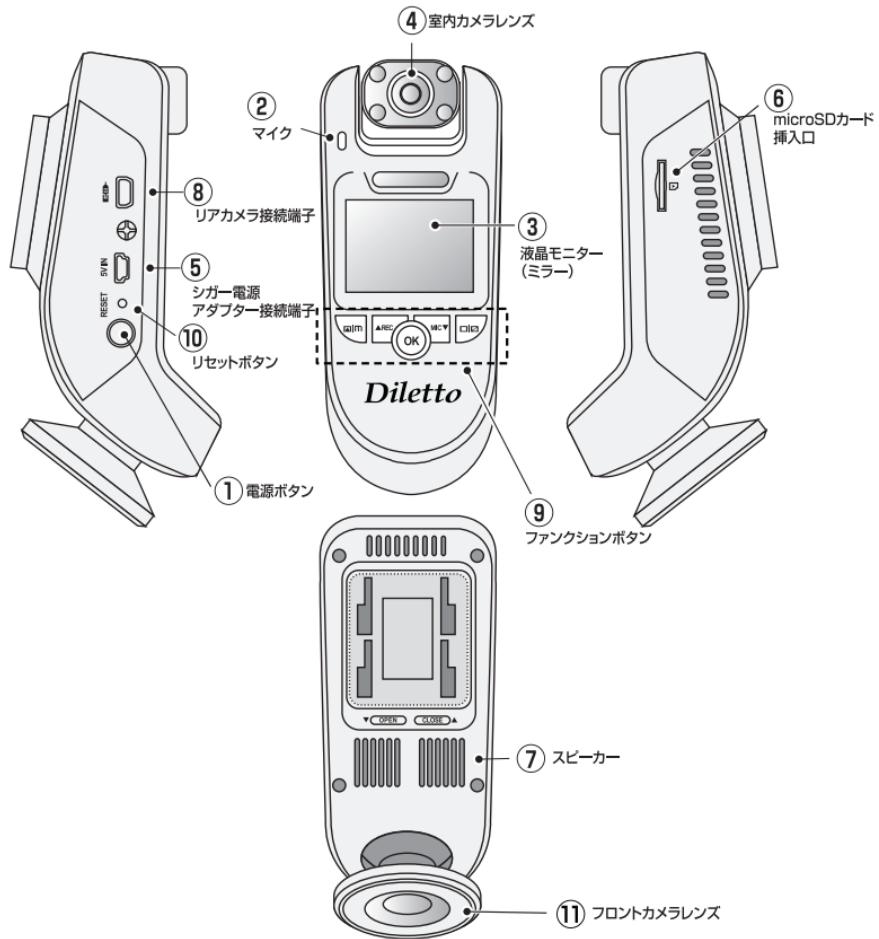


ご注意

- ・本製品にはmicroSDカードは付属されていません。市販品のmicroSDカードをご用意ください。

各部の名称と働き

本体



各部の名称と働き

リアカメラ



⑫ リアカメラレンズ



⑬ リアカメラケーブル接続端子

①電源ボタン

<電源オン時>

長押し：電源オフ

<電源オフ時>

短押し：電源オン

※録画中に短押しすると一時的に画面を非表示にします(再度、短押しすると画面が表示されます)

②マイク

周囲の音声を録音します。

※ご使用になる前に保護フィルムを剥がしてください

③液晶モニター

※ご使用になる前に保護フィルムを剥がしてください

④室内カメラレンズ

⑤シガーエンジンアダプター接続端子

シガーエンジンアダプターを接続します。

▲注意

必ずエンジンオフの状態で接続してください。故障の原因となります。

⑥microSD カード挿入口

microSD カードを挿入します。

※無理な力で差し込んだり、抜き出したりしないようにご注意ください

※microSD カードが入りづらい場合は、一度抜き出してから、再度、垂直・水平に挿入してください

※電源オン中に microSD カードを抜くと電源がオフとなります

⑦スピーカー

操作音やファイル再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

⑧リアカメラ接続端子

リアカメラケーブルを接続します。

⑨ファンクションボタン

各種メニュー設定、録画、マイク設定等を行います。

→ファンクションボタンについては P15 を参照

⑩リセットボタン

本体がフリーズしたり、動かなくなったりした場合、先の細いピンなどで押すことでリセットします。

本体が再起動します。

⑪フロントカメラレンズ

※ご使用になる前に保護フィルムを剥がしてください

⑫リアカメラレンズ

※ご使用になる前に保護フィルムを剥がしてください

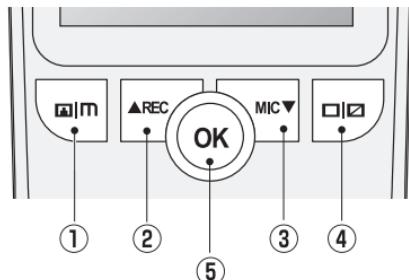
⑬リアカメラケーブル接続端子

リアカメラケーブルを接続します。

ファンクションボタンについて

ファンクションメニュー ボタンについて

各ボタンをタッチした際に動作する機能の説明



①メニュー ボタン

- ・録画中 : 無効
- ・録画停止中 : 短押しすると、メニュー画面に切り替わります。
長押しすると、以下のモードに切り替えます。
※[動画記録モード]→[静止画記録モード]→[再生モード]→ . . .
- ・メニュー中 : 短押しすると、メニュー画面を解除します。

②録画 ボタン

- ・録画中 : 録画を停止します。
- ・録画停止中 : 短押しすると、録画を再開します。
- ・メニュー中 : カーソルを上に切り替えます。

③音声録音 ボタン

- ・録画中 : 音声録音のオン・オフを切り替えます
- ・メニュー中 : カーソルを下に切り替えます。

④カメラ映像トグル ボタン

短押しするたびに以下の液晶画面の表示されるカメラ映像表示を切り替えます。
→ワイプ画面についてはP32を参照

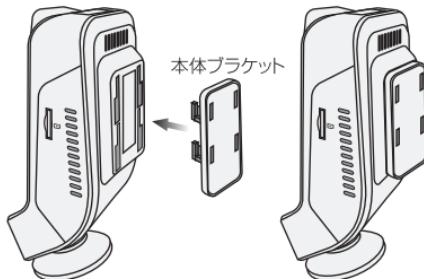
⑤OK ボタン

- ・動画記録モード中 : 録画中に押すと、手動による緊急録画に切り替わります。
3秒以上長押しすると、GPS情報画面に切り替わります。
※解除する場合は、このボタンを3秒以上長押しします
- ・各種メニュー中 : 各種設定時において、決定します。

取り付けについて

本体取り付け方法

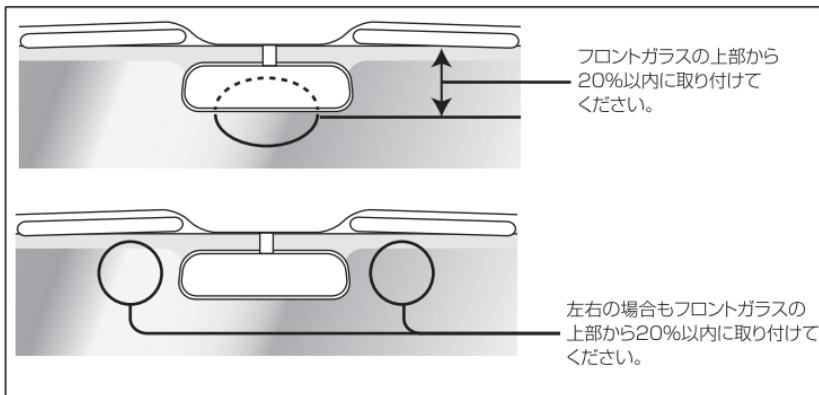
- 1.本体ブラケットを本体のジョイントレールに合わせて矢印の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて、本体に装着してください。



ご注意

- ・本体ブラケットは確実に奥まで装着してください。正しく装着されていないと、走行中に脱落する恐れがあります。

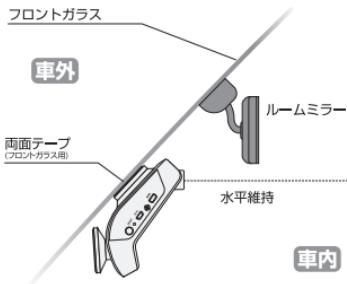
- 2.ステーを取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれい取り除いてください。
- 3.フロントカメラ及び室内カメラの画像を確認しながら、取り付け位置を決めます。



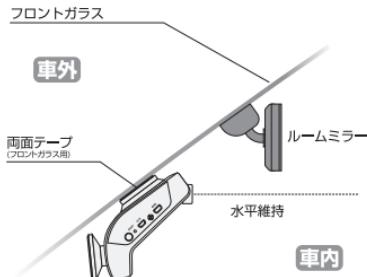
取り付けについて

取り付けイメージ

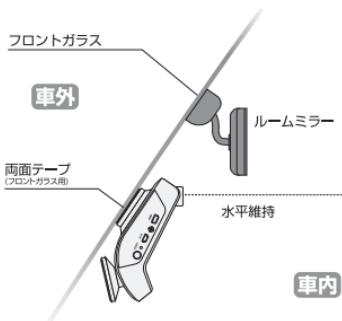
■一般的な乗用車



■フロントガラスが傾斜した車



■ワンボックスやトラック



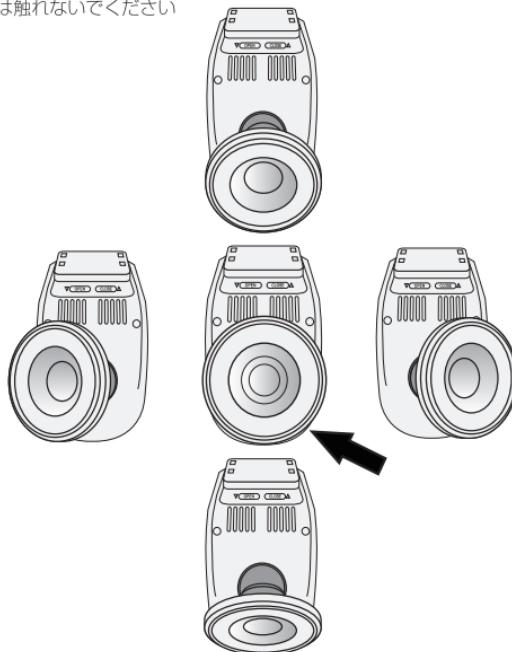
取り付けについて（つづき）

フロントカメラ角度調整

フロントカメラはレンズ周りを動かすことで角度調整ができます。

円を描くように回すことで可視角度調整できます。

※レンズ部分には触れないでください



ご注意

- ・カメラの映像確認をしながら設置する場合は、一時的に電源ケーブルを接続し、映像を見ながら調整してください。

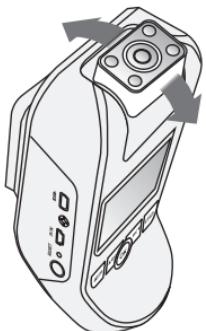
→電源ケーブルの接続方法はP21参照

- ・ルームミラーの後部、フロントガラスの中央部に設置できない場合は、ルームミラーの左側もしくは右側にも設置することができます。

※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります

取り付けについて（つづき）

室内カメラ角度調整



車内映像が入るよう、車内撮影用カメラレンズの角度を上下に調整してください。



ご注意

- 本機を取り付ける前に安全な視野を確保して、性能を十分に発揮するため、以下の内容をご確認の上、取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかつたり、整備不良の対象となる場合があります。
- 道路運送車両の保安基準、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 運転や視界の妨げとなる場所には取り付けないでください。
- フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けてください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
- フロントガラス以外には取り付けないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 弯曲している面には取り付けないでください。また、確実に取り付けられていることを確認してください。固定されず、脱落する可能性があります。
- 同梱品の取り付けステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。

取り付けについて（つづき）

⚠ ご注意

- 極端に貼り付け面が低温状態の場合、そのまま取り付けステー(両面テープ)を取り付けると、粘着力が弱まる可能性があります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう、ご注意ください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーエアダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。範囲外に取付けた場合、ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が鮮明でない場合があります。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。事故の際、安全装置が動かず、けがの原因となります。
- 取り付け位置によっては、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合があります。適切な位置を確認して取り付けを行ってください。
- 取り付けの際は、レンズを傷つけないように注意してください。また、取り付けの際、レンズに触れてしまうとレンズに汚れが付着したり、曇ったりして、映像焦点がズレてしましますので、取付けの際はレンズに触れないよう、ご注意ください。
- レンズの汚れが目立つ時は、乾いた布で軽くレンズを拭いてください。
※濡れた布や傷がつきやすい布等で拭かないように注意してください。また、バーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- 実際の映像を確認しながら取り付けを行ってください。
- 取り付けステーの剥がれ、ケーブルの緩み、配線の断線や緩み等がないか、定期的点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となる場合があります。
- 地デジや ラジオ、ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。また、地デジや ラジオ、ETC 等のコードと一緒に束ねないようにしてください。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けしてください。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。本機および、他の車載製品が誤動作を起こす可能性があります。
- 運転の妨げにならないよう、市販のコードクランプやインシュロック等を使用し、確実に配線の取り回しをしてください。
- リアウインドウがプライバシーガラスになっている場合やフィルムを貼っている場合、夜間の記録映像は見えにくくなります。
- 両面テープの貼付け面がリアウインドウの熱線と重ならないように取り付けてください。

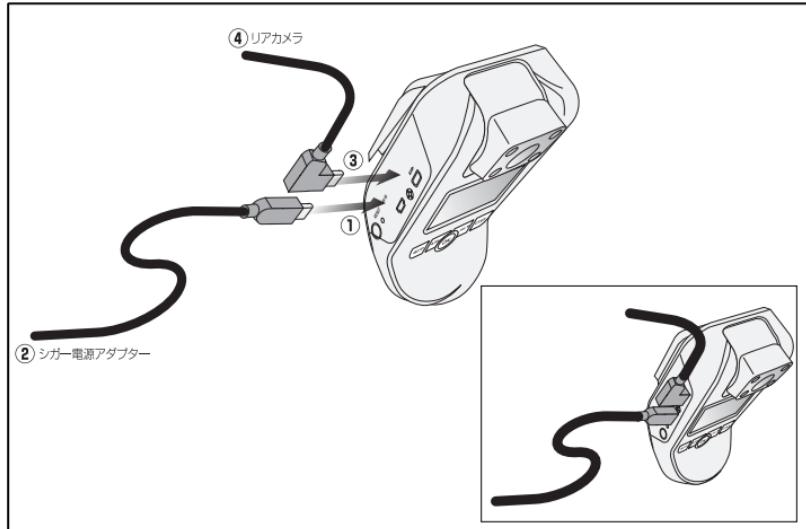
取り付けについて（つづき）

各種ケーブルの接続

本体と各種ケーブル類を接続します。

ケーブルは以下の通り、各用途によって差込口が異なりますので、ご注意ください。
※各接続端子には向きがあるため、無理に差し込むと破損します。形状を確認して接続してください

<配線図>



<シガーエンタープライズアダプターの接続>

シガーエンタープライズアダプター接続端子①+シガーエンタープライズアダプター②を接続します

<リアカメラの接続>

リアカメラ接続端子③+リアカメラケーブルプラグ④を接続します

⚠ ご注意

- ・本体に電源が入っている状態で各ケーブル、プラグの接続をすると、破損の原因となりますので、必ず、電源が入っていない状態で接続してください。

取り付けについて（つづき）

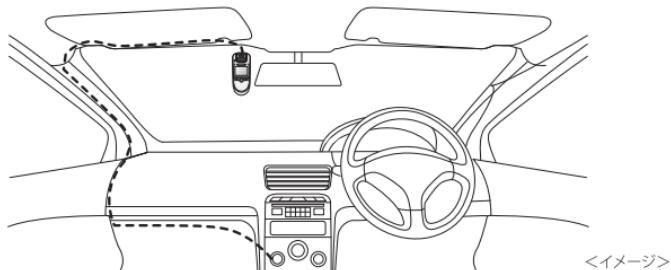
シガーエネルギーの接続

⚠ ご注意

- ・シガーエネルギーは必ず付属品をお使いください。
- ・付属品以外のシガーエネルギーを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。また、動作した場合であっても、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーソケットを分岐した状態で使用しないでください。分岐された状態で使用すると、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーライター使用直後は、電源端子が高温になっています。そのままシガーエネルギーを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間をおいて、熱が冷めた状態でシガーエネルギーを接続してください。
- ・安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください（必要に応じてインシュロック等で配線してください）。
- ・長期間本機を使用しない場合、シガーエネルギーを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- ・キーを抜いた状態または車両電源がOFF状態でシガープラグに通電している車種は、バッテリー保護のため、エンジン停止時は必ず、シガーエネルギーを抜いてください。

1. 同梱のシガーエネルギーを車両のシガーソケットに差し込みます。

※この時、車のエンジンはオフ（アクセサリーオフ）の状態で接続してください
(エンジンオン状態で接続すると、破損・故障の原因となります)



車両のシガーソケットから電源を取ります。

取り付けについて（つづき）

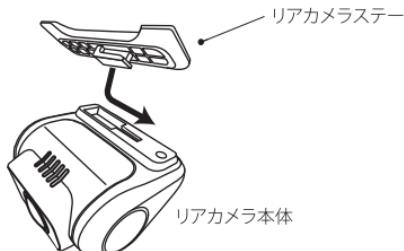
⚠ ご注意

- ・ 粘着シートは、繰り返しの貼り付けはできません。剥がした場合、粘着の効果が低下するため、貼り付けの位置は慎重に決めてから貼り付けしてください。
- ・ 取り付けステーは、無理な力ではめたり、取り外しをしないでください。破損する恐れがあります。
- ・ 付属のシガーエンジンアダプターおよびリアカメラ以外は絶対に使用しないでください。正常に作動しなくなったり、故障する可能性があります。
- ・ 電源がオンの状態で各種ケーブルを抜き差ししないでください。正常に作動しなくなったり、故障する可能性があります。

リアカメラ取り付け方法

<取付方法>

1. リアカメラの設置場所を決め、リアカメラ本体に取り付けた後、両面テープを剥がしてください。

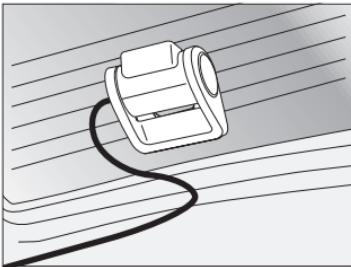


取り付けについて（つづき）

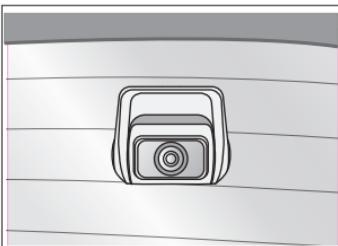
リアカメラ取り付け方法

2.リアウィンドウに貼り付けます。

※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます

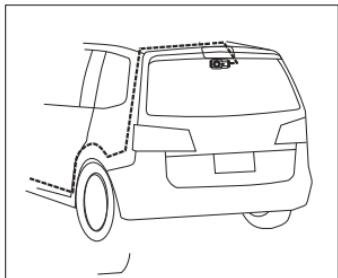


3.リアカメラ本体をリアウィンドウの上部に貼り付けます。



後部ガラスにしっかりと貼り付けます

4.リアカメラケーブルをリアウィンドウまで配線します。



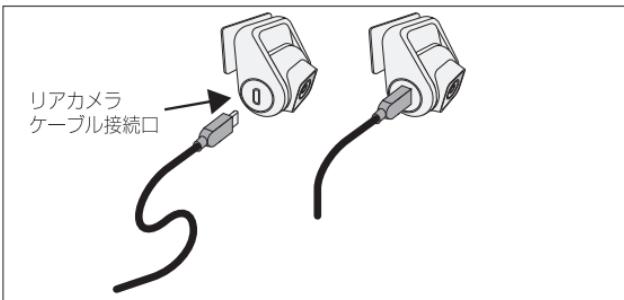
左図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リアカメラケーブルの取り回しにより、車内上部（ルーフ、内張内等）を通す必要があります

取り付けについて（つづき）

5. リアウインドウに貼り付けます。

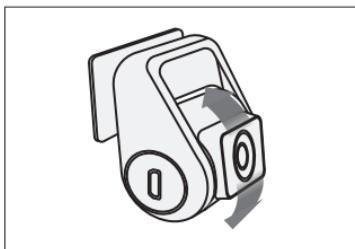


6. リアカメラ接続ケーブルをリアカメラ本体のポート（端子）に接続します。



7. 角度調整することで、最適の映像を録画できます。

※カメラの角度調整をする場合は、カメラ本体を支えながら調整してください。無理に回すと破損の原因となります



車外映像が入るよう、車外撮影用カメラレンズの角度を上下に調整してください。



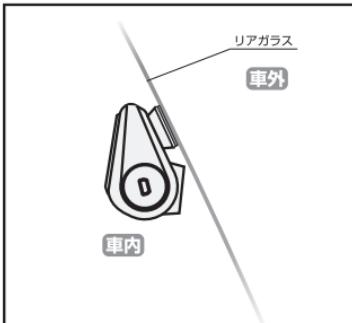
ご注意

- ・カメラの映像確認をしながら設置する場合は、一時的に電源ケーブルを接続し、映像を見ながら調整してください。
→電源ケーブルの接続方法についてはP21参照

取り付けについて（つづき）

8.バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認してください。

※実際の映像を確認しながら取り付けをしてください



バックドアやトランクをゆっくり開閉して、配線が挟まれていないことを確認し、配線を行ってください。
リアカメラおよびケーブルに損傷ができると、カメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。



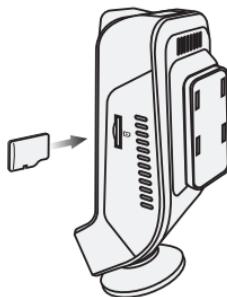
ご注意

- ・安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することができないように設置および配線をしてください。
- ・すべての付属品を接続してから、電源を入れてください。
- ・本機に電源が入っている状態で、リアカメラケーブルを抜くと、故障の原因となります。
- ・電源オンの状態で、付属品を接続すると、誤動作したり、故障する可能性がありますので、おやめください。
- ・リアカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまにならないことを確認してから、取り付けてください。
- ・リアカメラを取り付ける際、リアガラスの熱線をなるべく避ける様に貼り付けてください。取り外した際、熱線が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- ・取付け後、両面テープがしっかりと貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体が後部ガラスにきちんと貼り付いていないと剥がれることがあります。
- ・取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- ・高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、後部ガラスの各種アンテナに干渉し、テレビやラジオの受信感度が低下する場合があります。
その場合は、各種アンテナから50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。
- ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
- ※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

microSDカードの挿入・取り外しについて

microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



2. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください

3. microSDカードを取り出す際は、microSDカードを押し込み、microSDカードが少し飛び出してから引き抜きます。

※勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失にご注意ください

ご注意

- ・ microSDカードは付属されていませんので、市販品のmicroSDカードをお買い求めの上、ご使用ください。
- ・ microSDカードを挿入する際は、正しい向きを確認してから挿入してください。
- ・ 付属品のmicroSDカード以外を使用すると、正しく録画ができない可能性があります。
- ・ microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ・ 事故発生時は、記録された映像データが破損しないよう、microSDカードを抜いて、保管してください。

microSDカードのフォーマットについて

microSDカードのフォーマット

本製品をご使用になる前に、microSDカードをフォーマット（初期化）してください。フォーマットの手順は下記の通りです。

※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください

1.microSDカードが挿入されていることを確認してください。

2.車のエンジンをオン（ACC ON）もしくは、本機の電源ボタンを操作して、本体を起動します。

→電源の入れ方についてはP29参照

3.設定メニュー画面に切り替えて、「フォーマット」を選択します。

→設定メニュー画面の切り替え方P43参照

4.フォーマットを選択すると「フォーマットしますか?」と表示されるので、「実行」を選択する。

5.フォーマットが実行されて、設定メニュー画面に切り替わります。

→これでフォーマット作業は完了です



ご注意

- ・フォーマット操作は、車両が停止している状態で行ってください。
- ・フォーマット中は本機の電源を切らないようご注意ください。
- ・フォーマットを行うと、microSDカード内のデータが全て消去されます。大切なデータはパソコンへコピーして保存をしてください。
- ・本機でフォーマットができない場合は、パソコン等でフォーマットを行ってください。

電源オン/オフについて

電源オン

<エンジン連動>

シガーエネルギーが接続されている状態でエンジンオン（ACCオン）すると、自動的に電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。

<手動操作>

●エンジンオン状態（ACCオン）かつ意図的に[電源ボタン]で電源をオフした場合、[電源ボタン]を単押しすると電源オンとなります。

電源オフ

<エンジン連動>

電源オン状態でエンジンオフ（ACCオフ）すると、自動的に電源オフとなります。

<手動操作>

電源オン時に[電源ボタン]を長押しすると、本機の電源がオフとなります。

※エンジンオン状態（ACCオン）かつ意図的に電源ボタンで電源をオフした場合のみ、有効な操作となります



ご注意

- ・本製品はスーパーイヤバシタ搭載であり、電源オンした際、スーパーイヤバシタへの充電を行う必要があるため、電源オンから画面表示まで時間が数十秒かかる場合がありますが、異常ではありません。
- ・電源オン状態でmicroSDカードを抜くと電源がオフになります。

電源オン/オフについて（つづき）



ご注意

<エンジン連動ON機能について>

- ・本機は、エンジン連動機能が搭載されているため、車のエンジンオンで自動的に電源が入るようになります。また、車のエンジンをオフにすることで、自動的に電源がオフとなります。
- ※車種によっては、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。
あらかじめご了承ください。
- ・本機は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、電源ボタンを押して電源を入れるようにしてください。
- ・お買い上げ時や長期間、本製品をご使用にならなかつた等により、本体内蔵バッテリーの充電不足により、電源オンしても電源が入らない場合があります。
その場合、本機へ通電をおこない、充電をするようにお願ひいたします。
充電をすると通常に電源オンすることができます。

<アイドリングストップ車での電源オフについて>

- ・アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります（バッテリーや配線を見直してください）。
- その場合、電源ボタンを押して再度電源を入れるようにしてください。

<電源オフ/オンのタイミングについて>

- ・本機の電源をオフした直後は、最終録画ファイルのファイナライズとともに内部メモリ保護回路が働くため、オフ直後に再度電源をオンした場合、電源が入らない場合があります。電源をオフにしてから約5秒～10秒以上経過した上で、再度、電源をオンするようにしてください。
- また、電源が入っている状態または電源オフ直後にSDカードを抜くと、最終映像ファイルの保存処理が完了しない状態になる場合がありますので、確実に電源をオフしてからSDカードを抜いてください（電源オフ後、5秒以上経過した後）。

<電源オンについて>

- ・内蔵バッテリーは搭載していないので、電源が入っていない状態では動作しません。

各種モードについて

モード種別

本機は、「動画記録モード」、「静止画記録モード」、「再生モード」の3モードがあります。

- ・動画記録モード : 映像を録画するためのモード
- ・静止画記録モード : カメラに表示されている映像を静止画撮影するためのモード
- ・再生モード : 記録した映像ファイルを確認するためのモード

各モード画面への切り替え方

<動画記録モード設定画面>

- 1.動画記録モード時、録画停止状態にして、[メニュー]ボタンを長押しすると、静止画記録モードに切り替わります。

<静止画記録モード設定画面>

- 1.[メニュー]ボタンを長押しすると、再生モードに切り替わります。

<再生モード設定画面>

- 1.[メニュー]ボタンを長押しすると、動画記録モードに切り替わります。



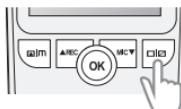
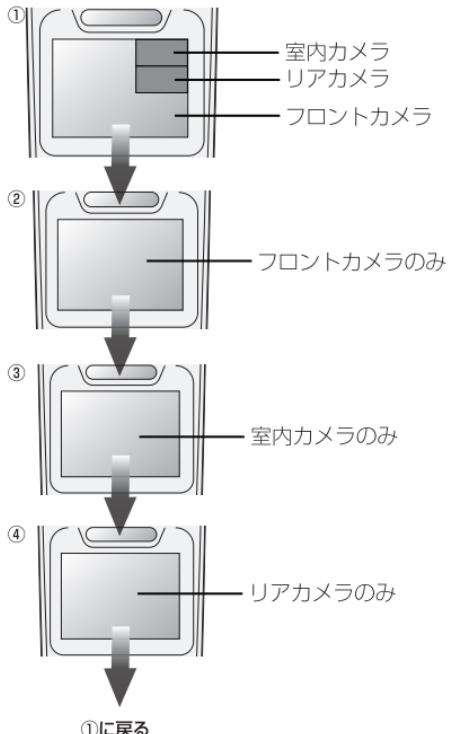
ご注意

- ・動画記録モードに切り替えても、自動的に録画が開始されませんので、ご注意ください。必ず、[録画]ボタンを押して録画してください。
- ・各モード中、約20秒間何も操作をしないと、自動的に常時ループ録画を開始します。

ワイプ画面について

ワイプ画面について

カメラ映像トグルボタンを短押しするたびに、以下の液晶画面の表示されるカメラ映像表示を切り替えます。



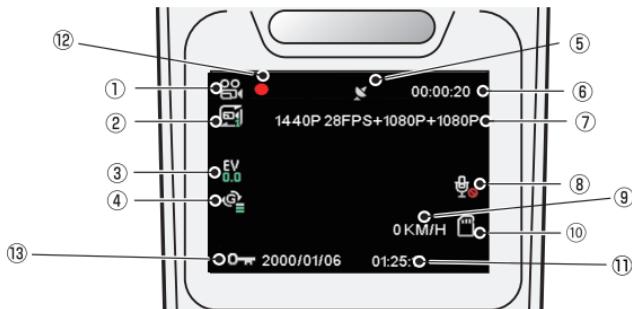
ご注意

- ・リアカメラが接続されていない場合は、リアカメラ映像画面をスキップします。

動画記録モード

画面表示

カメラ画面時に液晶に表示する各ボタンや表示物は以下の通りとなります。



①モードアイコン

モードの状態をアイコン表示します。

②ループ録画アイコン

ループ録画の設定状態をアイコン表示します。

③露出補正アイコン

露出補正の設定値をアイコン表示します。

④Gセンサーアイコン

Gセンサーの設定値をアイコン表示します。

⑤GPSアイコン

GPSの設定状態をアイコン表示します。

⑥録画時間

録画経過時間を表示します。

⑦解像度アイコン

動画記録の解像度を表示します。

⑧録音アイコン

音声録音の設定値をアイコン表示します。

⑨GPS速度表示

GPSによる速度を表示します。

⑩SD挿入状態表示

microSD カードが挿入されている場合、アイコンを表示します。

⑪現在日時表示

現在の日時を表示します。

⑫録画アイコン

録画中は赤いアイコンが点滅します。

⑬緊急録画アイコン

緊急録画時はアイコンが点灯します。

動画記録モード（つづき）

録画の種類

本機は「常時ループ録画」と衝撃を感知したときに録画する「緊急録画」の2種類の録画モードがあります。

さらに、緊急録画は自動的に衝撃を感知したときに録画を行う「緊急録画」と、手動で緊急録画を行う「緊急録画（手動）」があります。

常時ループ録画

設定された1分間/3分間/5分間のループで録画します。

microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。



1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続	...
-------	-------	-------	-------	-------	------	-----

※保存される1ファイルの記録分数は、1分/3分/5分のいずれかを選択することができます（保存される1ファイルの分数）

→ループ録画分数の設定についてはP40を参照

緊急録画

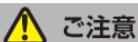
●緊急録画（衝撃感知録画）

他の車などと接触事故や予期しない衝突等が発生した場合、搭載されたGセンサーが衝撃を感じて、自動的に緊急録画が開始します。

●緊急録画（手動録画）

常時ループ録画中に、[OK]ボタンを押すと手動による緊急録画を行います。

※緊急録画時、録画を停止するには、[録画]ボタンを押下します。



ご注意

- ・録画ファイルはSDカード容量が上限に達すると、古いファイルを上書きして、新しいファイルを保存します。そのため、古いファイルは常に消去されますので、大切なデータはパソコンへコピーしてください。

録画について（つづき）

<画面表示>

緊急録画が開始されると、緊急録画アイコン(鍵のマーク)が表示されます。



緊急録画ファイルの保存について

緊急録画の開始タイミングによって、緊急録画ファイルとして保存するファイルが異なります。

ループ録画設定が**1分の場合=0:29**、**3分設定の場合=01:29**、**5分の場合=02:29**までを分岐点として、緊急録画が開始された時点のファイルとその前後のファイルを保存します。

※0~29秒、30秒~59秒の範囲内により、ファイル保存が異なります

例) ループ録画設定が「1分」に設定されている場合

この場合、ファイルAとファイルBを「EMR」フォルダへ保存します。

ファイルA	ファイルB	ファイルC
ループ常時録画 (通常録画)	ループ常時録画 (通常録画)	緊急録画

「29秒」の時点で緊急録画が開始された場合

例) ループ録画設定が「1分」に設定されている場合

この場合、ファイルBとファイルCを「EMR」フォルダへ保存します。

ファイルA	ファイルB	ファイルC
ループ常時録画 (通常録画)	ループ常時録画 (通常録画)	緊急録画

「31秒」の時点で緊急録画が開始された場合

録画種別について

ご注意

- ・緊急録画が終了すると、通常の「常時ループ録画」に自動的に切り替わります。
- ・緊急録画が終了した後、常時ループ録画に切り替わるため、映像ファイルの保存先が異なります。
- ・事故発生時や大切な映像ファイルを録画した場合は、上書きされないようにSDカード自体を保管するか、映像ファイルをパソコン等へコピーするなりして、保管してください。
- ・緊急録画を手動で停止させた場合、自動的に「常時ループ録画」には切り替わりませんので、ご注意ください。手動で録画を停止させた場合は、再度、録画ボタンをタッチして常時ループ録画を開始してください。
- ・衝撃感知設定によっては、頻繁に道路の段差やドアの開閉等でセンサーが感知する場合がありますので、設定メニューで衝撃感知のGセンサー値を変更して調整してください。
- ・緊急録画ファイルはSDカードの容量が上限に達すると、古いファイルを上書き消去し、新しいファイルを保存します。
時間の経過とともに古いファイルが消去されますので、あらかじめ大切なデータは消去されないようにパソコンへコピーしてください。
- ・緊急録画中は、「設定メニュー」に切り替えることはできません。
- ・緊急録画中に再度衝撃を感じても、延長して緊急録画は行いません。
- ・衝撃を感じて緊急録画を行なった場合の録画分数は、「ループ録画」で設定された分数に依存します。

静止画記録モードについて

画面表示

カメラ画面時に液晶に表示する各ボタンや表示物は以下の通りとなります。



①モードアイコン

モードの状態をアイコン表示します。

②露出補正アイコン

露出補正の設定値をアイコン表示します。

③ホワイトバランスアイコン

ホワイトバランス設定値をアイコン表示します。

④ISOアイコン

ISOの設定値をアイコン表示します。

⑤静止画撮影残り枚数

静止画撮影の残りの撮影を表示します。

※およその目安であり、撮影環境や画質、解像度によって残枚数に変化が生じます

⑥解像度

撮影解像度の設定値を表示します。

⑦画質アイコン

画質の設定値を表示します。

⑧SD挿入状態表示

microSDカードが挿入されている場合、アイコンを表示します。

⑨スーパーキャパシタ状態

スーパーキャパシタの充電状態を表示します。

ご注意

- 操作が終了したら、通常画面に戻してください。
- 静止画撮影モード中に衝撃を感じても、緊急録画は行われませんので、ご注意ください。

再生モードについて

画面表示

カメラ画面時に液晶に表示する各ボタンや表示物は以下の通りとなります。



①モードアイコン

モードの状態をアイコン表示します。

②タイムスタンプ

撮影した日時を表示します。

③解像度

撮影ファイルの解像度を表示します。

④SD挿入状態表示

microSD カードが挿入されている場合、アイコンを表示します。

⑤日付表示

現在の日付を表示します。

⑥時間表示

現在の時刻を表示します。

⑦スーパーキャパシタ状態

スーパーキャパシタの充電状態を表示します。

再生操作

再生	: [OK]ボタンを押すと、再生します。
停止	: 再生中に再度[OK]ボタンを押すと一時停止となります。
倍速再生	: 再生中に[録画]ボタンを押すと倍速再生となります。
スロー再生	: 再生中に[音声録音]ボタンを押すとスロー再生となります。
ファイル切替	: 停止中に[録画]ボタンもしくは[音声録音]ボタンを押します。



ご注意

- 操作が終了したら、通常録画画面に戻してください。
- 再生モード中に衝撃を感じても、緊急録画は行われませんので、ご注意ください。

設定メニューについて

各モード設定画面への切り替え方

<動画記録モード設定画面>

- 1.動画記録モード時、録画停止状態にします。
- 2.録画停止中に[メニュー]ボタンを短押しします。
- 3.動画記録モードの設定画面に切り替わります。



<静止画記録モード設定画面>

- 1.録画中の場合、録画を停止して、[メニュー]ボタンを長押しすると、静止画記録モードに切り替わります。
- 2.静止画記録モード状態中に、[メニュー]ボタンを短押しします。
- 3.静止画記録モードの設定画面に切り替わります。



<再生モード設定画面>

- 1.録画中の場合、録画を停止して、[メニュー]ボタンを2回長押しすると、再生モードに切り替わります。
- 2.再生モード状態中に、[メニュー]ボタンを短押しします。
- 3.再生モードの設定画面に切り替わります。



設定メニューについて（つづき）

初期設定メニュー画面の切り替え

本体の初期設定メニュー切り替えるには、各モード設定画面中に、再度[メニュー]ボタンを押下すると、初期設定メニュー画面に切り替わります。



[各モード設定画面中に、再度メニューボタンを短押し]



ご注意

- ・ 設定初期化(工場出荷状態に戻す)を行なった場合、各設定値を初期値に戻します。
- ・ 長期間、本機を使用しなかつた場合、各設定値が初期値に戻る場合があります。
- ・ 必ず、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけた状態で操作してください。

動画記録モード設定

項目	設定内容	
解像度	1440P+1080P+1080P 1080P+1080P+1080P	フロントカメラ+リアカメラ+室内カメラの録画解像度を設定します。
ループ録画	1分 3分 5分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。
露出	+2.0~0.0~-2.0	露出の設定を行います。 <設定値> +2.0、+5/3、+4/3、+1.0、+2/3、+1/3、 +0.0、-1/3、-2/3、-1.0、-4/3、-5/3、-2.0
録音	オフ オン	音声の録音をする・しないを設定します。
日付ラベル	オフ オン	動画ファイルに撮撮影した日時を記録する・しないを設定します。
Gセンサー	オフ ロー ミディアム ハイ	Gセンサーによる衝撃検知の感度を設定します。 ロー : 検知する感度が鈍感になります ミディアム : 標準 ハイ : 検知する感度が敏感になります

設定メニューについて（つづき）

静止画記録モード設定

項目	設定内容	
撮影モード	単写 2Sタイマー 5Sタイマー 10Sタイマー	静止画撮影をする際のタイマーを設定します。
解像度	12M 10M 8M 5M 3M VGA	静止画撮影時の解像度を設定します。 ※数値が高いほど高画質で撮影できますが、 ファイルのサイズが大きくなります
連写	オフ オン	静止画撮影を連写する・しないを設定します。 オンの場合、静止画撮影時に連写します。
画質	ファイン ノーマル エコノミー	静止画撮影時の画質を設定します。 ※ファインにすると、ファイルサイズが大きくなります
シャープネス	ストロング ノーマル ソフト	静止画撮影時のシャープネス（輪郭）を設定します。
ホワイトバランス	オート 晴天 曇天 タングステン 蛍光灯	静止画撮影時のホワイトバランス（色味）を設定します。
日付ラベル	オフ 日付 日付/時刻	静止画ファイルに日時情報を記録する・しないを設定します。 ※日時設定されていない場合は、記録できません
ISO	オート 100 200	ISO感度（明るさ）を設定します。
露出	+2.0～0.0～-2.0	露出の設定を行います。 <設定値> +2.0、+5/3、+4/3、+1.0、+2/3、+1/3、 +0.0、-1/3、-2/3、-1.0、-4/3、-5/3、-2.0

設定メニューについて（つづき）

再生モード設定

項目	設定内容	
消去	このファイルを消去する 全て消去	静止画ファイルを消去するかを選択します。
ロック	このファイルをロックする 全てのファイルをロックを解除する 全てのファイルをロックする 全てのファイルをロック解除する	静止画ファイルのロックや解除を行います。
スライドショー	2秒 5秒 8秒	静止画撮影ファイルのスライドショーの秒数を設定します。

設定メニューについて（つづき）

初期設定メニュー

項目	設定内容と説明	
日付/時刻	<p>「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンを押すと設定項目が保存され、カーソルが次の項目に移動します。</p>	
電子音	オフ オン	本体の操作音を鳴動する・しないを設定します。
言語	English 日本語	本体の表示言語を設定します。
フリッカレス	50Hz 60Hz	東日本地域は50Hzに設定してください。 西日本地域は60Hzに設定してください。 ※記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを軽減します
画面自動オフ	オフ 1分 3分 5分	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をオフにします。 ※オフにした場合であっても、動画記録は継続されます
GPS	オフ KM/H MPH	内蔵GPSを使用するかどうかを決めます。 GPSを使用する場合、「KM/H」もしくは「MPH」の速度表示単位のいずれかを選択します。
タイムゾーン	UTC/GMT+9:00	GPS時刻のタイムゾーンを設定します。 日本で使用される場合は、「UTC/GMT+9:00」を選択してください。 ※選択を誤ると、正確な日時が記録できませんのでご注意ください
フォーマット	戻る 実行	microSDカードをフォーマット（初期化）します。 ※SDカードをフォーマットする前に、重要なデータをパソコンでバックアップしてください。
設定初期化	戻る 実行	設定メニュー項目を全て工場出荷状態に戻します。
バージョン	本機のバージョンを表示します。	

PCビューウーについて

PCビューウーについて

専用のアプリケーション(Horson player)を使用することで、録画した映像をPC上で再生することができます。

推奨動作環境

対応OS	Microsoft® Windows® 10 (32bit/64bit)
CPU	2.2GHz以上で2コア以上のCPU
メモリ	RAM 8GB (DDR3) 133MHz 以上
HDD	100MB以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer®11以降
その他	.NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者（Administrator）権限が必要な場合があります ※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。 お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、 市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしておりません ※インターネット環境が必要となります ※オフラインでも再生操作等は可能ですが、地図表示や地図との連携および本ソフトの更新はできません

PCビューウーダウンロード

以下、弊社ホームページより専用PCビューウーツールをダウンロードしてください。

http://www.innovativesale.co.jp/link/goods/diletto/manual/DRV-H3C_PViewer_manual.pdf



ご注意

- ・パソコンのスペック(動作環境)を満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。OSバージョンやパソコンの各種設定、セキュリティソフト等の影響により、動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- ・自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
- ・パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
- ・パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店へお問い合わせください。
- ・仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
- ・パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

録画ファイルについて

録画フォルダ

microSD カードに録画、静止画ファイルが保存される際、以下のようなフォルダ構成となります。

※録画ファイル種別により、保存されるフォルダが異なります

 EMR	緊急録画ファイル
 Movie	常時ループ録画ファイル
 Photo	静止画ファイル

録画ファイルのファイル名

各フォルダへ保存されるファイルは以下の通りとなります。

フロントカメラ映像とリアカメラ映像はファイル名が異なります。

また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

| ファイル表示例

2020_0410_110814_004A.MP4

記録日付

記録日時

拡張子

システム識別番号

静止画ファイルの場合、拡張子
は「.JPG」となります。

※パソコンによっては表示しない場合があります

A : フロントカメラ映像

B : 室内カメラ映像

C : リアカメラ映像

録画ファイルと保存先フォルダ

録画ファイルと各ファイルの保存先については以下の通りとなります。

録画ファイル	保存先フォルダ	上書き
常時ループ録画	Movie フォルダ	
緊急録画	EMR フォルダ	上書きされる
静止画	Photo フォルダ	

※録画データは SD カードの保存容量（各フォルダ）の上限に達すると、古いファイルから上書き消去して、新しいファイルを保存します。そのため大切なファイルがある場合は、定期的にパソコンにファイルをコピーするなりして、大切に保管してください

録画ファイルについて（つづき）

最大録画可能時間

<ループ(常時)録画> 約84分

<緊急録画> 約36分

※上記はフロントカメラとリアカメラの合計最大録画時間となります

※microSDカードが32GBの場合となります

※目安の数値となります。最大録画可能時間は録画環境などにより変動します

※上記は理論値のため、目安となります（システムデータ領域も含まれます）



ご注意

- ・緊急録画（Gセンサーによる衝撃感知）または手動による緊急録画を行なった場合の録画ファイルは、「EMR」フォルダに保存されます。
- ・リアカメラが接続されていない場合、フロントカメラのみの映像ファイルが保存されます。
- ・大切なデータは、上書きされないよう、あらかじめパソコン等にバックアップしてください。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

また、P3~10に記載されている「安全上のご注意」ならびに「注意事項」のご確認をお願いいたします。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターの接続不良の可能性があります。	●シガーアダプターを一度外してください、再度接続し直してください。また、シガーソケットに確実に差し込まれているかを確認してください。
	●分岐ソケットを使用していませんか？	●シガーアダプターを分岐されたソケットに接続すると、火災や故障及び誤動作の原因になります。
	●付属のシガーアダプターを使用していませんか？	●付属のシガーアダプター以外の電源を使用しないでください。火災や感電及び誤動作の原因になります。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「0°C～+60°C」温度環境下で使用できます。
誤作動をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●本機のリセットボタンを押してください。
録画したはずのファイルがない	●映像ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおおすすめします。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	—
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。または、再度microSDカードの抜き差しをおこなってください。
	●電源をオフにしてからmicroSDカードを抜き差ししていますか？	●microSDカードを抜き差しする場合、本体電源がオフになっていることを確認してから行ってください。 電源が入っている状態でmicroSDカードを抜き差しすると、映像ファイルが正しく保存されず、破損ファイルとなります。
再生ファイルの音声が聞こえない	●録音設定がオフになっていませんか？	●設定メニューの「録音」設定を確認してください。

トラブルシューティング（つづき）

症状	原因	対処方法
ファイルが破損している	●電源をオフにしてからmicroSDカードを抜き差ししていますか？	●再度、microSDカードを本体に挿入して、電源をオンしてください。 その後、本体電源をオフにしてからmicroSDカードを抜き、再生ファイルの確認をしてください。 ※最終保存処理によって、上記の方法でも復旧しない場合もありますので、予めご了承ください
再起動する場合がある	●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。
	●電源が入っている時に、各ケーブルの抜き差しをすると、本体がで再起動または電源オフになる場合があります。	●電源が入っている状態で、ケーブルの抜き差しは行わないでください。 思わぬ動作となる場合や故障する場合があります。
信号機表示が消えてしまう	—	●映像の記録周期とLED式信号機の周期によつては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。 その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できることによる事故やトラブルに関しては、弊社は一切その責任を負いかねます。
緊急録画が頻繁におこなわれる	●Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。	●設定メニューの「Gセンサー」から設定を変更してください。
他の車載機に影響が出る（テレビが映らない等）	●取付場所はアンテナ、レーダーなどに50cm内に位置していませんか？	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラー・センサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。

トラブルシューティング（つづき）

症状	原因	対処方法
画面が表示しない	●電源ボタンを押しましたか？	●電源ボタンを短押すと画面が一時的に非表示になります。
画面がちらつく	●スーパーイヤバシタの充電が不十分な可能性があります	●長時間使用していない場合、スーパーイヤバの充電が不足します。その場合は、十分に充電してください。
	●電源供給が不安定な可能性があります	●付属品のシガーエレメントアダプターを使用してください。 ●分岐されたシガーソケットを使用している場合は、直接車両のシガーソケットに差し込んで使用してください。
	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●各ケーブルの接続を見直してください。
リアカメラが表示しない	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●リアカメラは接続されていますか。 ●各ケーブルの接続を見直してください。
SDカードエラーが発生する	●定期的にSDカードをフォーマットしていますか? ●SDカードが正しく挿入されていますか? ●SDカードが破損している可能性があります。 ●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●SDカードをフォーマットしてください。 ●SDカードを正しく挿入してください。 ●SDカードを交換してください。 ●パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ●本機を再起動してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください
フォーマットができない	●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ●SDカードを交換してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください

その他

SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。

定期的なフォーマット(SDカード内を初期化すること)をお勧めします。

※SDカードについておよびフォーマットについては**P28**を参照してください

※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています。

日時保持期間について

本機の日時設定は手動により設定します。一度、日時設定を行ってから、5日間以上、本機に電源が入らなかった場合、内蔵している日時設定メモリ電池が放電し、日時がリセットされますので、その場合は、再度、日時設定を行うようにしてください。

日時が正しく設定されていない場合、ファイルの保存の並び順や上書きの順番に狂いが生じ、ファイルが消去される可能性がありますので、ご注意ください。

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、電源オフ操作を行い、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時、衝撃レベルが低いと、センサーが動かさずに緊急録画されない場合があります。あらかじめご了承ください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折りたむ)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

製品仕様

品番	DRV-H3C
記録媒体	microSDカード(付属ではありません)
レンズ(フロント)	イメージセンサー:SONY STARVIS IMX335 CMOS sensor 記録解像度:WQHD:2560×1440 FHD:1920×1080 視野角(画角):対角 153° 水平 111° 垂直 80° F値:1.8 フレームレート:28fps
レンズ(室内)	イメージセンサー:SONY STARVIS IMX307 記録解像度:FHD:1920×1080 視野角(画角):対角 136° 水平 115° 垂直 61° F値:1.4 フレームレート:30fps
レンズ(リア)	イメージセンサー:SONY STARVIS IMX291 記録解像度:FHD:1920×1080 視野角(画角):対角 141° 水平 117° 垂直 61° F値:1.4 フレームレート:30fps
静止画記録解像度(フロント)	12M:4032×3024
静止画記録解像度(室内・リア)	2M:1920×1080
ファイル形式	動画:.MP4 静止画:.JPG
ループ(常時)録画時間	1分/3分/5分
モード	動画モード/静止画モード/再生モード
Gセンサー(通常録画)	ハイ/ミドル/ロー/オフ
音声録音	オン/オフ
使用電源電圧	DC5V 12V/24V
消費電力	フロント:4W 室内:1W リア:1W
動作温度	0°C~+60°C
外形寸法	フロント・室内:約147.6×58.6×40.5mm リア:約60.5×57×30.3mm
重量	フロント・室内:約181g リア:約44g
付属品	リアカメラ本体、リアカメラ接続ケーブル、シガーエレメント電源アダプター 取り付けステー(3Mテープ付き)、取扱説明書、保証書 ※microSDカードは付属しておりません

※本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

※機能改良のためファームウェアのアップデートを行う場合があります。詳しくは下記のホームページを参照してください。

<http://www.innovativesale.co.jp/>

×モ

メモ

メモ

保証書について

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■保証書について

保証書は、ご購入年月日、販売店などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入漏れがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となりますので、記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはサービスセンター修理受付窓口にご連絡ください。

■保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはサービスセンター窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■microSDカード

ご購入された市販品microSDカードは保証の対象外となります。

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はサービスセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

<保証期間内でも次のような場合には有償修理となります>

- ご使用の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- お買い上げ後の落下や輸送などによる故障または損傷。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変並びに公害や異常電圧での故障または損傷、その他の外部要因による故障または損傷。
- 取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます（付属品も含む）。
- 業務用（営業用）としての使用、船舶の備品としての搭載。
- 本保証書の提示が無い場合。
- 本保証書にご購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合、或いは字句を書き換えられた場合。（販売店または販売元が必要事項を記入せず、お買い上げ伝票などを発行した場合は、ご購入日・型番等の必要事項を確認し、保証書に添付して保管してください）
- 消耗部品を交換する場合

移転の場合は、ご購入店にご相談ください。移転先によってはサービスを受けられなくなることがあります。

本保証書は日本国内に於いてのみ有効です（Effective only in Japan）。

保証書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は保証書に明示した期間、条件のもとに於いて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合はお買い上げ販売店にお問い合わせください

※保証期間経過後の修理については、ご要望により有償にて修理させていただきます

※本体底面に貼付されているシリアルナンバーのシールは剥がさないようお願いいたします

※本体および付属品の紛失については保証対象外となります

販売元：株式会社イノベイティブ販売

サービスや修理に関するお問い合わせ先

サービスセンター：〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8 TEL:048-970-5027

- お客様へのお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。

- 販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号をご記入の上、保証書をお客様へお渡しください。

コピー不可

持ち込み修理		* * * * * 保証書 *		* * * *	
お客様	お名前	型番	DRV-H3C	ご住所	〒 -
	様			お買い上げ店	電話() -
お買い上げ日： 年 月 日		保証期間(本体)：お買い上げ日から1年間		故障内容：	
<p>本書は、本記載内容と取扱説明書の保証規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 保証期間中に取扱説明書・本体添付ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合 本保証書をお買い上げの販売店へお持ち頂ければ、販売店様を通して無料修理いたします。 (個人情報の取扱いについて) 保証書にご記入いただいた個人情報(氏名・住所・電話番号)につきまして以下の通りに取り扱います。 記載いただいた個人情報は本製品保証に関わる業務においてのみ利用いたします。また本製品保証遂行のために製造メーカーに個人情報を提供する事があります。</p>					

2020年5月

Diletto

販売元：株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8
<http://www.innovativesale.co.jp/>

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027（通話料がかかります）
電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp

2020.6初版